

郡山市長
品川萬里 殿

2020 年度

郡山市への腎臓病友の会からの要望書

郡山市腎臓病友の会
会長 佐久間紘一

令和2年7月1日

郡山市長
品川 萬里 殿

郡山市腎臓病患者友の会
会長 佐久間紘一
〒963-8041 郡山市富田町字権現林 26-140

郡山市への腎臓病患者からの要望書

はじめに、

日頃、腎臓病患者及び郡山市腎臓病患者友の会に特段のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

今年度の定期総会は、「新型コロナウイルス」等の緊急事態に見舞われ定期総会を開催する事ができず「文書総会」にて会を終了させていただきました事ご報告いたします。

さて、郡山市腎臓病患者友の会（略称：郡山市腎友会）は、今までに腎臓病患者を増やさないことを目標に掲げ、会員相互の親睦と交流を通して、郡山市腎友会の原点である「生命と暮らし」を守るために団結し、安心して透析生活等を過ごせることを目指し活動して参りました。

このことは、他の団体との交流会等を通して腎臓病患者のみならず障害者や難病患者さらに郡山市民が安心して暮らせる社会に繋がると確信しております。

私たち障害者は、過度の社会保障制度を求めるものではありませんが、時代と共に患者の高齢化や「医療と福祉制度」が変遷する中で、患者が安心して暮らせる社会環境の構築のために、下記の要望事項につきまして特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要望事項

1 重度心身障害者医療費助成制度の給付について

現状で、透析患者のみならず重度心身障害者におよぶ、医療費助成制度に対して「自動償還制度」を実施してくださり心から感謝します。

生涯にわたり透析治療を必要とする患者にとって極めて重要な制度です。透析患者は週3回、1回4時間～6時間の通院透析もしくは入院治療を必要としています。また、最近では高齢化や入院の長期化及び独居での生活が進む患者が増えています。

とりわけ、長期透析や糖尿性腎症により合併症を抱えさらには患者の高齢化、新型コロナウイルス等緊急事態宣言発令に伴う外出の制限で、自動償還払い制度の手続きに負担を感じている（複数病院での治療費支払い）患者も多くおりました。。

福島県の一部の市（福島市、いわき市、会津若松市他）ではすでに「現物給付」を実施している旨聞いております。郡山市腎友会としても現物給付制度への移行を望んでおりますのでよろしくお願いいたします。

2 再生医療への推進及び臓器移植体制の拡充

現在まで治療法がなかった難病を自分の細胞を使って必要な臓器を再生する道を開いたiPS細胞に代表される再生医療は、目の網膜、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、パーキンソン、アルツハイマー、脳梗塞、脊髄損傷などの難病の治療への扉を開こうとしています。

全国に先駆け、郡山市の患者、家族、施設、協力団体の皆さんで、iPS細胞による再生医療への支援として、募金、助成と研究者への励ましの手紙など患者それぞれの思いをお届けする活動が必要と思われれます。

そして、これらの医療の進歩が私達患者に生きる勇気を与えてくれますし、また、市民の皆さまにも関心を持ってもらうことで医療の進歩が高まりますので、広報活動等を通して、市民への関心を持ってもらえるようによろしくお願ひします。

さらに、従来どおり郡山腎友会では郡山市の協力のもとに昨年もファミリーフェスタの会場でドナーカードやチラシを配り、市民の皆さんに移植医療のご理解とご支援を訴える活動をしてまいりました。

つきましては、今後も臓器移植についてのキャンペーン活動へのご協力、広報誌やホームページで引き続き取り上げていただき、移植医療の普及にご支援くださるようによろしくお願ひ申し上げます。

3 障害者や透析患者の就労対策を強化し、障害者雇用にご支援をお願いいたします。

腎不全で人工透析を受ける患者は全国で約33万人。健康な人と同じように働くことができる方も少なくありません。週3回程度の透析治療が必要なため、パートなど雇用が不安定な人も多くいます。

就労には職場の理解が欠かせず、夜間に透析（一部実施中）できる医療機関も必要です。

多くの障害者(内部)は就労を通して社会参加と自立を目指しています。透析患者の身体的な特性を理解し、通院のために時間的な配慮をいただければ、健常者と遜色無く就労

することができます。雇用時のみならず就業中の理解も含め、雇用に関するご支援をお願いしたいと思っております。

雇用がますます厳しい状況が続く中、障害者の雇用はさらに厳しさを増すと思っておりますが、地域に住む障害者が安心して暮らせる社会や、内部障害者の「社会認知度」を上げるために障害者雇用の拡大と就労について、障害者や透析患者に対する相談窓口等を開設するなど、郡山市のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

4 広報活動への充実支援

郡山腎友会では、近々に郡山市腎臓病患者友の会ホームページを立ち上げる予定です。実施したイベント等についての情報、当腎友会の活動をますます活発にするために、より多くの透析患者の皆さんや健常者の皆さんに我々腎友会の活動を知って頂くことが重要です。

今後、郡山市の広報関係資料、ホームページに紹介して頂けますようご検討のほどお願い致します。

5 郡山市腎臓病患者友の会への財政的支援をお願い致します。

郡山市の活動に対して財政的な支援を実際にして頂き心から感謝します。

現在、郡山市腎友会の活動は会員の会費で運営されていますが、昨今は支出が多く財政的にまだまだ大変厳しい状況にあります。郡山市では約750名以上の患者（郡山市在住）が、16の医療機関で透析しています。郡山腎友会に加入している患者は70名9.3%となっており、組織率の低下が懸念されています。

そこで郡山市腎友会では、未加入施設の組織化や未加入患者の入会促進の強化を図る方向性を活動の軸に頑張りたいと思っております。交流会を通しての呼びかけで会員の増加を目指していますが、旅行行事等で個人負担がかなり多くなりできれば、資金援助及びサービスの支援があればうれしく思います。

以上5項目要望させていただきました。郡山市の「ご支援とご尽力」を よろしく願い申し上げます。

以上。